

横浜スペイン交流協会会報

La Asociación del Intercambio entre Yokohama y España

1990年11月1日発行 創刊1号 発行・横浜スペイン交流協会事務局

スペインとの文化交流を！

横浜スペイン交流協会

会長 下山貞明

国際都市横浜に、この度「横浜スペイン交流協会」が、発起人をはじめ会員の皆様のご協力により設立されましたことを皆様と共に心からお慶び申し上げます。

いま、スペインは、1992年のバルセロナ・オリンピック、セビリア万博、コロンブスのアメリカ大陸発見500年祭、更に、EC市場統合という画期的な年を迎えようとしています。この期に、スペインが大好きな仲間達が協会を設立し、良い出

会いが始まる機会を得たことは誠に素晴らしいことと存じます。何と言っても、国際交流は、急いでその成果を求めるものではなく、会員相互の楽しい触れ合いの中から生まれる息の長い、心の通った文化活動であると思います。それには、会員の皆様が協力し合い、みんなで協会を大きく育てて行くという心づもりで、地道に実績を重ねながら、スペインとの絆を深めてまいりたいと願っている次第です。

大きな成果を予言して

在日スペイン大使

アントニオ・オヤルサルバル

●在日スペイン大使 「メッセージ」の原文



メッセージ

この度の会報第一号発刊に際し、横浜スペイン交流協会に対して心からお慶び申し上げます。

1992年にスペインで実施されます大きな行事が間近にせまったこの時期に会報を発刊されるということは、明らかな意義と重要性を有しておるものです。貴報の紙面は、横浜の多くの読者に、イスマノアメリカの発見と植民地化の歴史的、かつ今日的な意義をもたらすものでありましょう。そして、今世紀末には、我々の歴史の輝かしい1ページを作り上げるでしょう。

しかるに、21世紀初頭には、スペインは更に文化的、経済的に重要なときを迎え、貴会報の紙面にも、貴重な反映をみることができるようでしょう。

それゆえ、横浜スペイン交流協会の素晴らしいイニシアティブに対し、当地で我が国が有意義に進歩、発展し続ける大きな成果が生じ、日増しに広がるであろう事を、あえて予言させていただくものであります。

祝 創 刊

.....各方面からよせられた祝辞を紹介します.....

スペインの太陽のような 明るい交流を

神奈川県国際交流協会専務理事 吉原 弘 治

スペインを旅したある人が、スペインのどんな所へ行っても、他のヨーロッパ諸国とスペインの歴史の中を同時にさまよい歩いている様な錯覚にとられる、と言ったのを聞いた事があります。

私にとってもスペインは、単に闘牛とフラメンコの国というだけではなく、アルタミラの洞窟、壁画に始まり、ローマ帝国やルネサンス等の様々な文化を吸収し、多様性と独自性を混在させながら現在に遺すスペイン独特の文化、風土には、かねてから関心をもっておりました。

当協会では、草の根レベルでの国際交流（民際外交）を推進し、交流の輪の拡大と相互理解を深める事に務めておりますが、このたび発足しました横浜スペイン交流協会におかれましても、魅力溢れる文化、芸術を神奈川の地に紹介していただき、スペインがより身近なものとなり、スペインの太陽のように明るい交流の輪がますます広がる事を願ってやみません。

日本の桜をかけはしとして

横浜市長海外交流協会専務理事 今 井 紹 雄

日本とスペインとの文化交流に並々ならぬ情熱を寄せられる方々が、この度「横浜スペイン交流協会」を設立されたことを心からお祝い申し上げます。

スペインは日本にとってまさにエキゾチックな夢とロマンの国として、昔から憧れの対象でありました。私達は、フラメンコや闘牛にスペインの人々の熱い血潮を感じ、ピカソの「ゲルニカ」に平和を願う不屈の国民性を見て、スペインに親愛感と信頼を抱き続けてきました。「横浜スペイン交流協会」が「スペインに日本の桜を植樹し、交流の絆を強くしよう」との構想で発足したことは、市民レベルでの喜びに堪えません。今や激動するヨーロッパ情勢の渦中にあるとも言える

スペインに、皆様の手で平和の花を咲かせていただくことを心から願っています。

高まる市民の関心

横浜市長総務局国際室長 大 内 弘

横浜スペイン交流協会「広報」の創刊を心からお祝い申し上げます。

本年4月下旬から約2か月間、バルセロナのデザイン活動、建築、文化等を展示・紹介する「バルセロナ&ヨコハマ シティ・クリエイション」がMM21地区で開催されましたことは、記憶に新しいところです。また、1992年のバルセロナ・オリンピック開幕を控え、スペインに対する市民の関心はますます高まりつつあります。

このような折りに、貴協会が「会報」発刊を皮切りに、横浜・スペイン間の友好親善と文化交流の促進のための諸活動を開始されることは誠に時宜を得たものと思います。

横浜市は、8つの姉妹都市をはじめ海外の諸都市との交流と相互理解を深め、国際平和の推進に務めております。

横浜スペイン交流協会が、横浜・スペイン間のかけ橋として、ますます発展し、世界の平和に寄与されることを心から期待いたします。

ロンダより愛を込めて！

横浜スペイン交流協会顧問 春 田 美 樹

会報の創刊おめでとうございます。

会報を媒体として、皆様と私の間がより身近になったように思い、大変嬉しく存じます。折りにふれてロンダ通信をお届けしたいと思います。

1日も早くスペインに日本の桜が植樹され、両国の市民による文化交流が増進することを念願しております。

皆様のご健勝と協会のご発展を心から祈念いたします。

横浜スペイン交流協会の 活躍に期待する

スペイン政府観光局
局長 パブロ・ムーイェル



この度の「横浜スペイン交流協会」の発足並びに会報の創刊に心よりお祝い申し上げます。

皆様すでにご存じのように、2年後の1992年にはバルセロナ・オリンピックをはじめ、セビリア万国博覧会、コロンブス新大陸発見500年祭、マドリードのヨーロッパ文化都市指定と、国家的行事が目白押しにあり、現在、スペインは世界各国から注目されると共に、国内は大変な熱気に満ちています。

このような時期に、国際都市横浜に貴協会が発足され、日本・スペイン両国の友好親善関係の一層の発展にご助力いただけますことは誠に意義深いものであると思います。今後の貴協会のご活躍を期待しております。

日西両国の友好親善に寄与

横浜スペイン交流協会
副会長 植田 伊津

「横浜スペイン交流協会」の発足を皆様と共に
お慶び申し上げます。会員になって、何か遠来の
親友に出会うような胸弾む思いです。

文学、美術、音楽、舞踊などの分野で多彩な著
名人を輩出したスペイン。情熱的な闘牛やフラメ
ンコだけでないスペイン。日本に多くの影響を与
えたスペイン。ベレー帽も最初の輸入がスペイン
からとか。スペインは地理的には遠いが、心情的
には近い国ではないでしょうか。

ここに、スペインに強い関心と信頼感を持つ私
達が集い、お互いの歴史を学び、文化を語り、心
と心の交流を深めながら、400年余にわたる日本
とスペイン両国間の友好親善関係の増進に寄与し
ようということは、何と素晴らしいことではし
ょう！スペインへの桜の植樹も、私達が情熱を傾け
協力し合って、楽しい文化交流の1つの事業とし
て早期実現に努めたいと思います。

当協会設立の趣旨及びその経過について

日本とスペインは400年余にわたり友好関係を
持ってきましたが、特に第二次世界大戦後は政治
的にも経済的にも文化的にも交流が進展し、両国
の友好親善関係が深まりつつあります。

横浜市においても、港南区民が中心になって、
1984年にセビリア市への友好親善訪問など様々な
文化交流事業が行われました。この間、ロング市
に住み、日本とスペインとの文化交流に情熱を傾
けている名誉アンダルシア人春田美樹画伯と親密
な交友関係が生まれ、また、日本とスペインとの
友好親善関係増進に実績を持つ「日本マドリード
会」やスペイン大使をはじめスペイン関係者とも
友好関係が結ばれ、このような多くの方々のご理
解とご支援により文化交流事業に顕著な実績をあ
げることができました。

この度、「スペインに日本の桜を植樹し、交流
の絆を太く強くしよう」との長年にわたり関係者

が抱き続けてきた構想を具体化するため、これま
で国際交流に深い理解と実績を持ち幅広い活動を
している関係者が集い、1990年7月に「横浜ス
ペイン交流協会」が設立されました。

最近における日本とスペインの関係は緊密化の
一途をたどっていますが、特に、1992年がいバルセ
ロナ・オリンピックやセビリア万国博覧会の開催、
コロンブスのアメリカ大陸発見500年祭の年であ
り、加えて、EC市場統合という画期的な年でも
あるため、スペインに対する関心がこれまでにな
く高まっており、両国の友好親善関係は大きく発
展するものと確信しております。

このような時期に「横浜スペイン交流協会」が
発足したことは、誠に象徴的であり、意義深いも
のがあると存じます。

今後、両国の関係が大きく進展するに伴い、ス
ペインに在勤、在住する日本人あるいは旅行する

日本人が急増するでしょう。申すまでもなく、政治的、経済的、文化的交流のいずれにおいても、人と人の太く強い絆があってこそ、それに支えられて発展していくものと考えます。スペインに植樹した日本の桜が大きく成長するほどに、日本とスペイン市民相互の交流が深まり、両者の絆も太

く強く成長しつつ、両国の友好親善関係の発展を支えていくことになるかと確信しております。

私共は、このような趣旨を踏まえて、スペインへの桜の植樹事業を鋭意推進することはもとよりスペインとの文化交流に関する諸事業や行事に積極的に取り組んでまいりたいと存じます。

☆1990年度事業計画概要☆

〔事業概要〕

- 1 桜をスペインに植樹し、文化交流の促進を図り、日本とスペイン両国間の伝統的な友好親善関係の発展に寄与する。
- 2 会員相互の交流及び親睦を図る。
- 3 スペインとの文化交流に関する啓発その他諸種の会を開催する。
- 4 国際的文化交流に関する諸種の行事に参加する。

〔1990年度事業計画〕

- 1 創立総会を開催する。(7月7日)
- 2 理事会及び広報・企画等の会議を必要に応じ随時開催する。

- 3 会員懇談会(会員相互の情報交換等)を開催する。(8月25日、26日、9月8日)
- 4 会報を発行する。(創刊号 11月)
- 5 創立記念パーティを開催する。(12月)
- 6 スペインの文化・現代事情等の話しを聞く会、スペイン料理を食べる会等を開催する。
- 7 スペイン友好親善旅行の企画等の準備を進める。
- 8 桜の植樹事業について、その実現へ向け、引続き、調査・情報収集・関係機関への働きかけ等を行い、スペインにおける受入れ体制が早期に整うよう努力する。

〔当協会役員及び顧問紹介〕

(50音順)

会 長 下 山 貞 明	(財)横浜産貿易ホール専務理事	理 事 森 川 裕 也	(財)横浜市建築保全公社理事長
副会長 植 田 伊 津	横浜国際婦人文化交流会会長	監 事 高 島 正 子	前横浜家庭裁判所調停委員
理 事 飯 塚 勲	(株)アンパサンド能力開発研究所所長	監 事 森 川 正 子	横浜地方裁判所司法委員
理 事 井 上 利 雄	(社)横浜社会福祉協会 施設長	顧 問 石 井 陽 一	神奈川大学外国語部スペイン語科教授
理 事 小 田 泰 治	医師(自宅開業)	顧 問 近 藤 四 郎	日本マドリッド会会長
理 事 五 神 嘉 子	鶴見区社会福祉協議会副会長	顧 問 春 田 美 樹	画家 ロンダ市在住 名誉アンダルシア人
理 事 竹 田 富 美	有明製菓(株)専務取締役	顧 問 柳 貞 子	声楽家(スペイン歌曲)
理 事 中 田 真 弘	セントラル物産(株)代表取締役社長		
理 事 西 丸 興 一	横浜私立大学医学部教授		

□会員紹介□

はじめまして、皆さん今日は！

会員がお互いに良く知り合い、相互理解を深めること、また、協会の運営に関しての話し合いなどを目的として、去る8月25日をかきりに、26日、9月8日の3回にわたって、当協会事務局のある産業貿易センタービルにおいて懇談会が開かれました。

次に紹介する会員のコメントは、懇談会に参加した会員の話を会報編集担当者がまとめさせていただいたものです。

なお、紙面の都合で今号には懇談会参加者全員のコメントが掲載できませんでしたが、順次掲載の予定です。

●スペインの歴史に興味があり、ギターも好き。またガール・スカウトのリーダーをしている。これらの活動を通じて、スペインとの交流を深めたい。(石元)

●20年前スペイン語を学んだ。東の果て日本と西の果てスペインとの文化・社会の相違点と共通点に興味をもっている。少しずつ、時間をかけて(poco a poco)理解を進めたい。(伊藤)

●みなさんと一緒にスペイン旅行をしたい。弟がフィリピン人と結婚している。フィリピンの社会には、カトリック教会をはじめ、スペイン文化の影響が色濃く残っている。(臼井)

●スペインの庶民が好き。タクシーの運転手もチップを強要せず、つり銭を全部返すほどだ。アブダビに2000本の楠を植樹した経験がある。スペインへの桜の植樹にも協力したい。(大塚)

●日本舞踊を教えており、伝統文化に関心をもっているが、これからは外に向かって文化活動をしたい。スペインについては、最近開かれたバルセロナ展を見て興味をもつようになった。みなさんと一緒に、楽しく勉強を続けたい。(岡)

●30年前、大学の第2外国語としてスペイン語を

学び、以来関心をもち、勉強を続け、スペイン旅行に備えている。(岡田)

●大学ではスペイン語を専攻。サモラでホーム・ステイした。そのホスト・ファミリーなど、スペインの人びとの大らかさと暖かさが忘れられない。子育てが一段落した今、スペインとの結びつきを回復したいと思っている。(橘屋)

●大学でスペイン語を専攻、1年間サラマンカ大学に留学した。子育てが終わり、ふたたびスペイン語の勉強に取り組み、現在は地元のグループでスペイン語を教えている。(栗山)

●39年前、スペイン語の授業を受けたことがあるが、ほとんど忘れてしまった。8月にパッケージ・ツアーで、酷暑のバルセロナ、マラガ・グラナダ・セビリアや、マドリッドなどを駆け足で回った。プラド美術館のグレコ、ゴヤ、ピカソとセビリアのタブラオでのフラメンコには深い感銘をうけた。旅行には、とくに現地の人びととの接触が大切だと感じている。(阪本)

●ドイツ系の企業に勤務し、ペルー、コロンビア、チリーに、20年間生活した。現在も、ラテン・アメリカとの交流活動を続けている。ブラジル、ペルー、コロンビアからの日系2、3世の就労者のお世話もしている。スペインへは2回旅行している。スペイン人の知己も多い。(下村)

●発電関係のコンサルタント・エンジニアとして、アフリカ・中近東を中心に世界各国を廻ってきたが、残念ながら、まだスペインには行ったことがない。スペイン語を勉強中。今後はみなさんと一緒にスペインの人びとと交流したい。(高井)

●スペインには、ピレネーのパケーラなど、25か所もの国際的なスキー場がある。1989年には、フィギュア・スキーのヨーロッパ・カップが開催され、ロック調の黒田節や佐渡の鬼太鼓を披露し、

おおいに日本をアピールした。(高橋)

●大学ではイタリア語を専攻したのだが、スペイン語の美しさのとりこになり、イタリア語とスペイン語の二足のわらじを履くことになった。それ以来、スペイン語圏の人びととおつきあいが続けている。一人息子もスペイン語を専攻し、昨年はサラマンカ大学へ留学中の息子と一緒に、セビリアのセマナ・サンタを見ることができた。夜のざわめき、静かな興の動き、蠟燭の匂いなど忘れられない思い出となった。(高柳)

●15年前カトリックの神父さんからスペイン語を習った。その後スペインへ旅し、歴史的な遺産が大切に保存されていることに感心した。スペイン語の勉強が続けている。(武岡)

●アルゼンチンの民族音楽のタンゴ、ミロンガ、サンバなどに興味を持っている。1974年にスペインへ旅行した。音楽を通じて、アルゼンチンやスペインについて、さらに理解を深めたい。できたら退職後はスペインに住みたい。(角井)

●20年前スペイン語を学んだ。スペインへの興味を深めるようになったのは、3年前、一緒に旅行した家内からの刺激によってである。これからみなさんと一緒に、勉強したい。(露木)

●大学で、スペイン語を学んだ。10年前、夫とともにリオ・デ・ジャネイロへ。現地でポルトガル語を学び、イベリア半島の歴史や文化への興味が再燃した。いまふたたびスペイン語に取り組んでいる。近くスペインを訪問する予定。(寺原)

●アルゼンチンでは、ラテン気質やワインを飲んで酔っ払うパードレに親しみを感じた。スペインではじめてガウディの建築に接したときには、はらわたの中を歩くような気分だったが、今ではおもしろいと思う。またフラメンコにも興味をもっている。(永井)

●貿易会社に勤務しており、15年前メキシコ出張中、風邪をひき、ホテルで毛布をもってきてもらうのに一苦労した。これがスペイン語とのかかわりをもつきっかけとなった。カトリックの神父さ

んとも知己があり、スペインの人びととの個人的な付き合いをしたい。(西住)

●妹が結婚して17年マドリードに在住。1992年のEC市場統合によってスペインの農業は大きな打撃を受けることが懸念され、マドリードでは、農民による豚や牛の群れを放したり、トマトの山を築いたりといったユニークなデモが続いているという。(野波)

●1987年秋から1年ほどスペインに滞在した。その間マドリードの周辺やアンダルシア諸都市の人びとの生活、メルカードやレストランなどの写真をたくさんとってきた。そのいくつかはスペイン旅行案内書にも使われている。スペイン旅行の際は、各地を案内できると思う。(浜本)

●スペインは、音楽的にも、多彩で魅力的な国だ。地方ごとに独特の音楽があり、優れた小品が多い。大正のころ母が収集したスペイン音楽のSPレコードを、最近、LPに吹き替えた。今では手に入らない懐かしい曲が多いので、ご一緒に聴く機会があればと思っている。(広島)

●20数年前、セビリアの市長に手続を書き、現地で、結婚式を挙げた。以来スペインに何かお返しをしたいと家内と話し合ってきた。桜の木を送る企画には大賛成で、ぜひ協力したい。(広瀬)

●最初に行った外国はスペイン。サラゴサ大学で1か月スペイン語を学んだ。以来スペインとは特別の関係。最近では父もわたしに刺激されスペイン語をはじめた。昨年オランダで開かれた空手大会に出場し、フアン・カルロスⅠ世の姻戚にあたるというアダン氏と知合った。スペインとの繋がりを大切に、今後も友人の輪を広げたい。(三村)

●盆景を教えているが、1985年、スペインで接したアルハンブラのイスラム芸術やピカソの作品などに一服通じるものを感じた。(山下)

●スペインはクラシック・ギターの発祥の地である。23年前、ギターを学ぶためにスペインへ行った。アリカンテでホーム・ステイし、アンドレス・セゴビアの後継者のレッスンを受けることがで

きた。スペインでギターの巨匠たちの演奏に触れたことと、心やさしい人びとと暮らしたことが忘れられない。(渡辺)

会員構成プロフィール

会員皆さんが入会される時、申し込み書に記入される内容から、会を構成する皆さん全体のプロフィールを分析してみました。

当協会会員の特徴は

1. 表1から、男女比はほぼ同じだが、やや女性が多い。
2. 表2から50歳代が一番多く、次が40歳代で、若年層が少ない。
3. 表3から会社員をはじめとし、いわゆる働き手といわれる人々が4分の3を占めている。

これらから、当協会のメンバーは男女差は余りなく、比較的落ち着いた働き手の年代であるということができましよう。

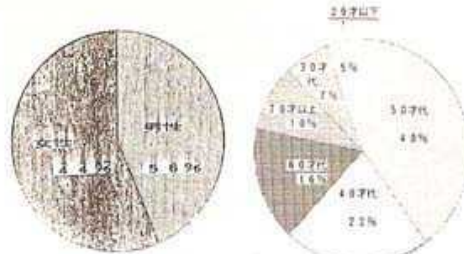


表1 男女別構成比

表2 年齢別構成比

このような任意団体で、学生などが少ないというのもめずらしいかもしれません。

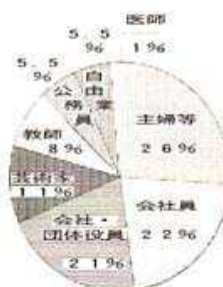


表3 職業別構成比

創立総会開かる (7月7日)

1990年7月7日(土)午後2時、(財)神奈川県国際交流協会ラウンジにおいて開催。設立発起人を代表して下山貞明(財)横浜産貿ホール専務理事があいさつ。協会設立の趣旨及び経過を報告。議事を審議、第1号議案「協会の規約(案)」、第2号議案「1990年度事業計画(案)・予算(案)」、第3号議案「役員の選出について」を出席者全員の賛成を得て可決。(財)横浜市海外交流協会の今井専務理事、日本マドリッド会の近藤会長が祝辞。スペイン国大使館マヌエル・ビリャビエハ公使・参事官のメッセージを披露。役員のあいさつ。会員の自己紹介。

総会終了後、春田美樹画伯が記念講演「アンダルシア地方に住んで」(在住日本人の目で見、肌で感じたスペイン現代事情)。

【スペイン国大使館 マヌエル・ビリャビエハ公使・参事官の祝辞(要旨)】

横浜スペイン交流協会の皆様がスペインとの文化交流を助長しようとしていることに大使、駐日スペイン大使館は深い感謝の意を表します。このような文化交流活動はスペイン国民に両国の文

化をより良く知らせる機会を与えることになり、これまでの両国間の友好関係が更に強化されることになるでしょう。今後皆様の一層のご努力をお願いいたします。当大使館文化担当部といたしましても、そのための協力をいたす所存です。



Embajada de España

La Embajada de España agradece profundamente a los miembros del Comité preparatorio para el establecimiento de la Asociación del Intercambio entre Yokohama y España, el interés en fomentar el intercambio cultural entre Yokohama y España.

Esta significativa contribución al intercambio cultural proporcionará la oportunidad de que ambas culturas se conozcan mejor por nuestros compatriotas, estrechando así todavía más las cordiales relaciones que ya existen entre ambos países.

Aprovecho la ocasión para mandarles mi felicitación y animarlos para que continúen sus esfuerzos, ofreciendo para ello la colaboración de esta Sección Cultural.

Tokio, 4 de julio de 1990

EL MINISTRO CONSEJERO

M. Villarreal
Manuel Villarreal

協会設立記念パーティ開催のお知らせ

当協会の発足を記念して、カクテルパーティを次ぎにより開催します。スペイン大使やスペイン政府観光局長など関係機関の方々をご招待し、横浜港の百万ドルの夜景を背景に、スペインの歌やギター演奏のアトラクションも用意し、盛大かつ楽しいパーティにしたいと企画委員一堂張り切っています。

お知り合いの方々（スペインの方は、ご招待、会費無料）をお誘い合わせの上ご参加下さい。

- * 日時 1990年12月5日（水）
午後6時～8時（午後5時30分会場）
- * 場所 横浜国際会議場ラウンジ
（産業貿易センタービル9階）
- * 会費 7,000円（当日申し受けます）
- * 申込み方法 はがき又は電話等で下記までお申込下さい。（先着100名様）

〒231 横浜市中区山下町

横浜スペイン交流協会

【交通案内】JR・地下鉄：関内駅南口下車 徒歩15分。市営バス：横浜駅東口又は桜木町駅1番ポール26系統 大根橋下車、2番ポール8・58系統 警友病院前下車。



事務局からのお知らせ

「会報にご投稿歓迎！」会報を創刊しました。今後2号・3号・・・と続けてまいります。会員の手作りにより、楽しく読んでいただける充実した内容の会報にしたいと、編集委員一同張り切っております。スペインに関する文学、歴史、音楽、美術、舞踊、スポーツ、料理、経済、政治現代社会事情、旅行等、お知りになった事、体験された事など何でも結構です。ご投稿を心からお待ちしております。原稿はいつでも事務局まで。

〔会報の名称を募集！〕 スペインとの文化交流を進める当協会の会報にふさわしい、スマートで愛着の持てる名前を付けて下さい。1991年1月末日までに事務局にお寄せ下さい。

〔協会の運営・事業・・・みんなで考え、みんなで参加！〕 「会員相互の交流・親睦を図りながらスペインとの文化交流を進める」「事業は無理をせず、会員が楽しめるよう配慮しながら、地道に取り組む」ことをモットーに協会を運営してまいります。

これまで、1990年度事業として、会員の懇談会

を開催、会報を創刊し、記念パーティの準備を進めていますが、更に、「スペインを親善訪問」「スペインの文化・歴史・経済等に関する講演会・研修会」「在日スペイン人との懇親会」「スペインの音楽・歌・絵画を鑑賞する会」「スペイン料理を食べる会」「カレンダー、テレホンカードの頒布」「シンボルマークの作成」「復元船サンタ・マリア号の横浜への回航」etc., 会員の夢はふくらむばかり！ どれから始めましょうか？

会員の皆様が、無理のない範囲内で分担し、助け合い、楽しみながら事業を進められれば・・・と考えています。ご意見、ご希望等を事務局までお寄せ下さい。楽しみにお待ちしております。

編集後記

・7月7日、設立総会が開かれてから後、12名の広報・企画委員が決まり、最初の打ち合わせ会議をもったのが7月19日、それから毎月第1週土曜日委員会を開きつつようやく第1号会報発行のはこびとなった。

・会員皆様のコミュニケーション・ツールとしての役割を果たしていきたいと、委員一同がんばっています。